

<単元>はたらく人とわたしたちの暮らし 第1章 工場の仕事 (教科書p.52~p.65)

<めあて> わたしたちのくらすまちは、どのような仕事をしている人たちがいるのだろう。
福岡市でつかられているおかしを例に考えよう。

- 1 教科書 p.53の「**2**工場が集まっているところ」の資料を見て、気付いたことやわかったことを書きましょう。

--

- 2 教科書 p.53の「**3**市で30人以上の人がはたらいている工場の数」の資料を見て、福岡市ではどんなものをつくっている工場がありますか。多い順に2つ書きましょう。

1番多い工場	2番目に多い工場
--------	----------

- 3 教科書 p.55の学習問題を書きましょう。

--

- 4 教科書 p.55の「まなび方コーナー」の「おかし工場の見学カード」を参考に、見てくること、聞いてくることを書きましょう。

見てくること	聞いてくること
--------	---------

- 5 教科書 p.56~57の「おかし工場」の①~⑥を見て、わかったことやふしぎに思ったことを、教科書をさんこうに書きましょう。

わかったこと	ふしぎに思ったこと
--------	-----------

- 6 教科書 p.59 の「工場の秋丸さんの話」と「**4**原料はどこから」を見て、お菓子の原料についてわかったことを書きましょう。

- 7 教科書 p.60～61 の「おいしくつくるためのくふう」と「えいせい面のくふう」、「工場の宮原さんの話」を見て、はたらく人はどんな工夫をしているのか書きましょう。

- 8 教科書 p.62～63 を読んで、「工場の秋丸さんからのメール」から福岡市にお店が多い理由を書きましょう。

- 9 これまでの学習をふり返り、お菓子をせんでんするシールの案を考えよう。

【わたしが考えたせんでんシールの案】